広報しんじょう

12
2010

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.636

ホームページ http://www.city.shinjo.yamagata.jp
メール info@city.shinjo.yamagata.jp

ホームページ検索 新庄市 検索

特集

地域力。

支え合い、人ふれあうまちに

まちづくり総合計画策定

事務事業評価結果／雪国のルールを守って

■市の木[モミ]

昭和59年の市制施行を記念して市民アンケートから選ばれたもの。新庄の大地に深く根を張り、一直線にそびえるモミの姿は、未来に躍進する新庄の希望と愛情を表す。

特集

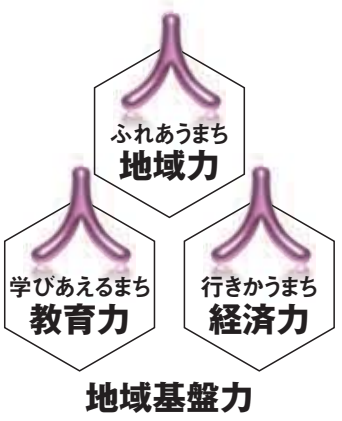
地域力。

支え合い、人ふれあうまちに

今年度の市政運営のテーマは、「地域基盤力」を高めること。市民が自信と誇りを持てるまちの実現に向け、市民とともにまちづくりの課題を解決するための施策を講じていくことを基本に市政運営を進めています。この「地域基盤力」を引き出すために必要なのは、「経済力」「地域力」「教育力」の三つの力。

今回は「地域力」をテーマに、「地域の現状と課題」「魅力ある地域づくり活動」「区長と地域づくり」などについてその取り組みを紹介します。

人口減少社会のなか、「地域力」の強化は重要課題のひとつです。町内会活動などの地域コミュニティの活性化を図り、誰もが安心して暮らすことができる「人ふれあうまち」の実現に向けた地域づくりについて考えます。



Chapter 1 地域の現状と課題
Chapter 2 魅力ある地域づくり活動紹介
Chapter 3 区長と地域づくり
Chapter 4 「人ふれあうまち」の実現を目指して

■萩野中学区老人クラブ連合会「演芸大会」(11月16日／萩野地区公民館)
萩野中学校区内の5つのクラブで構成される萩野中学区老人クラブ連合会では、毎年「演芸大会」を開催しています。「演芸大会」では、会員が歌や踊り、合唱などを披露。町内やクラブの枠を超え交流が広がります。

地域力 Chapter ①

地域の現状と課題

人口減少と高齢化社会の進行

近年、全国的に人口減少・高齢化が進んでいます。新庄市においても、平成十八年には人口四万六百二十九人でしたが、二十二年には、三万九千百四十八人（いずれも四月一日現在の住民基本台帳による）になり、四年間で千五百人弱の人口が減少しています。また、国の推計では、十年後の新庄市の人口は、三万五千人にまで減少すると予測されています。

同じく総人口に占める六十五歳以上の人口比率である高齢化率も平成十八年の二十四・二%から平成二十二年には二十六・二%となっています。これは、日本の高齢化率二十三・二%（二十二年五月一日現在）に対し三ポイントも上回る数値で、今後さらに高齢化社会が進行することが予想されます。

希薄化する地域のつながり

今年、全国的に高齢者の所在不明が相次いで発覚しました。これにより浮き彫りとなったのが地域内でのつながりの希薄化。新庄市においても例外ではありません。昨年度、市とNPOもがみが各区長に依頼し実施した「町内会等の活動に関する調査」では、「役員のなり手がいない」「若い世代の参画が少ない」などの課題を多くの地域が抱えていることがわかりました。そのような状況のなかで活動の縮小を余儀なくされている地域もあります。

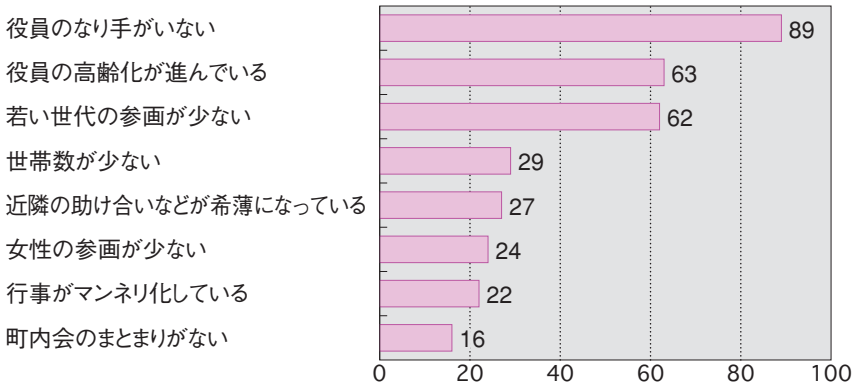
求められる町内の将来像

この調査では、「自分たちの住む町内の将来像」についても理想の姿を尋ねました。その結果「人々のつながりが保たれている」「安心して生活ができる」「子育てがしやすい」などが上位にあげられました。

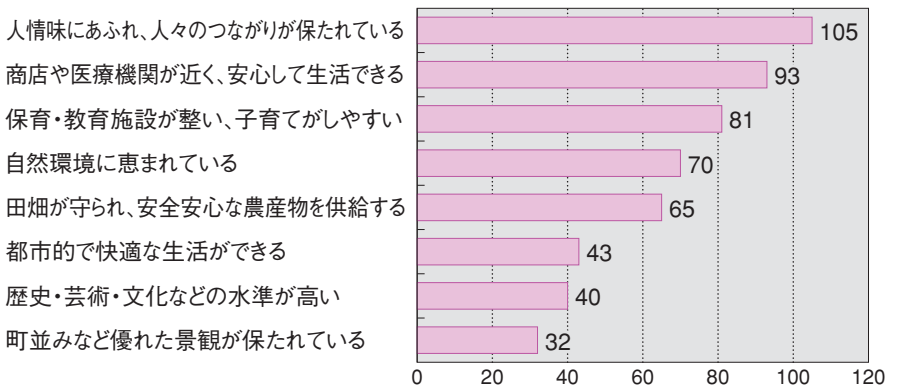
地域住民のつながりが強化されることにより、地域の連帯感が生まれ、高齢者世帯や地域の子どもの見守り、災害時の助け合いなど、相互扶助の精神が高まることにもつながります。

現在の地域内のつながりを保ち、また新たな関係を築く。従来の地域コミュニティの枠や形にとらわれない、誰もが参加しやすいコミュニティの形成が今求められています。

町内会運営の課題は？（170地区／複数回答）



自分たちが住む町内の将来像は？（170地区／複数回答）



地域力 Chapter 2

魅力ある地域づくり活動紹介

地域の活動には、消防団やまつり・囃子の若連、子ども会、婦人会、老人クラブなど、世代や性別などで分けられたさまざまな団体が存在しています。それぞれの団体が、会員不足などの課題を抱えながらも、活発な活動を行おうと模索しています。

今後の地域コミュニティの活性化には、次代を担う若い世代と、現在役員などとして地域をまとめている世代との年齢・性別の枠を超えた連携と交流が必要です。

市内にも、さまざまな活動を通し、地域の特色を生かしながら、地域コミュニティの活性化に向けて努力している地区や町内会が数多くあります。その代表的な事例として、今回は泉田地区と山屋地区の取り組みを紹介します。

泉田地区

泉田地区では、泉田1～5区、桜通り東・西、旭通り、泉田駅前の9地区で泉田地区住みよいまちづくり協議会を組織してさまざまな活動を行っています。

■泉田囃子若連によるまつり囃子演奏

■泉田小6年生による創作劇「走れ与吉」

■塩野民謡会が民謡を披露

■泉田小ダンスクラブによるダンス

■若手グループ「泉田元氣会」のおもてなしを楽しむ参加者

■会のメンバーが素人演芸を披露

■参加者につきたて餅を提供

世代を超えてはぐくむ地域の一体感 泉田地区の取り組み

若手グループが「敬老会」を開催

泉田地区在住の二十代・三十代の若手を中心としたグループ「泉田元氣会」では、「泉田まつり」の開催のほか、敬老の日に地域の高齢者を公民館に招き、敬老会を開催しています。敬老会では「元氣会」のメンバーが、餅つきや素人演芸の披露などで、お年寄りを楽しませています。

この取り組みは、青年団活動が盛んだったころから続くもので、地域の高齢者の楽しみの一つとして世代を超えた交流が図られています。

泉田フェスティバルを開催

毎年、泉田地区の各団体が一堂に会し「泉田フェスティバル」を開催しています。この催しは、泉田小学校の六年生の保護者が中心となり実行委員会を組織して毎年受け継がれています。

小学生のほか、保育所の子どもたちや中学校の吹奏楽部、高校生や地域の民謡・民舞の会などさまざまな団体が共演を通し、交流を図ることで、地域の一体感が生まれています。

新たな地域づくりへワークショップ開催
山屋地区の取り組み

十月三十一日に、新たな地域づくりを考える「元気な地域づくりワークショップ in 山屋」が開催されました。

このワークショップには、山屋地区の住民など約七十人が参加。上山屋、下山屋、大福田地区で組織する山屋地区連合会が、市とNPOもがみの呼びかけに応じて実現したものです。

この日は、まずは自分たちの住む地域を良く知ってもらうため八つのグループに分かれ、地域内の散策からスタート。地域の魅力や課題探しを行い、次に、写真や感想を地図にまとめ、最後に山屋の魅力をアピールするキャッチコピーを班ごとに発表しました。どのグループも薬師堂や地蔵尊などの歴史遺産や、自然あふれる農村の景観、市内を眺望できる自然環境などの地域資源を踏まえたキャッチコピーとなりました。

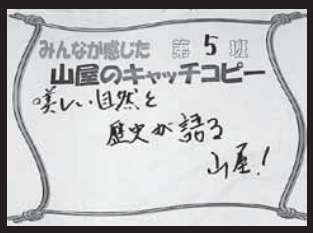
今後、ワークショップで出された地域の課題や資源を整理し、解決策や活用方法について住民が主体となった話し合いが進められます。

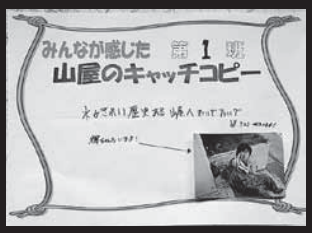
平成二十年に同様のワークショップを実施した鳥越地区では、ワークショップをきっかけに、地域づくりのための実践計画書（方針）を策定し、環境整備や「鳥越八幡神社土舞台文化祭」の開催など地域資源を活用した新たな取り組みが進められています。

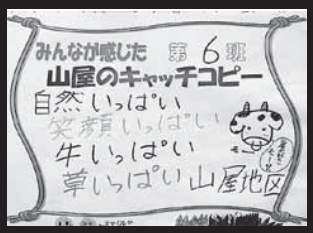
山屋地区においても、今回のワークショップにより、地元への関心が高まり、地域内の話し合いの場が生まれました。歴史と自然あふれる山屋地区で住民が主体となった地域づくりが始まります。

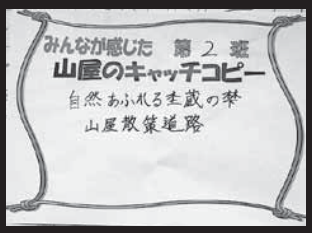
山屋地区連合会
会長
伊藤 清一さん

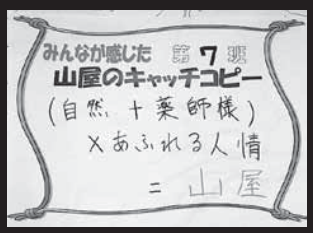
子どもから大人まで、多くの地域の人たちが学校に集い、山屋について語り合ういい機会となった。今後も改善すべき点などを話し合って、住民が協力しながら、住んでいて良かったと思える地域にしていきたい。

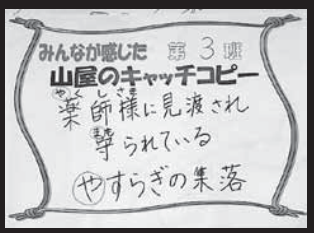


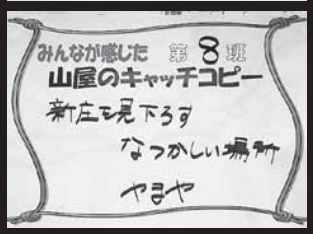


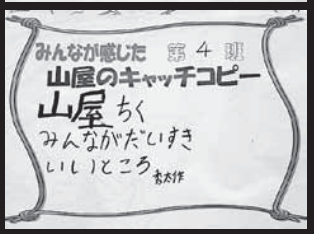












■鳥越地区に続き講師を務めた地域づくりプランナー・高橋信博氏

■多くのグループが地域の宝とした山屋薬師堂。周辺整備も課題に

■散策で見つけた地域の良いところ、悪いところを地図にマーク

■1組5～6人で8つのグループに分かれて地域内を散策

■新庄盆地を一望できる牧草地を視察。活用案について話し合う

地域力 Chapter 3

区長と地域づくり

活動事例を紹介した二つの地域のほかにも、多くの地域で新たな地域づくりに向けた取り組みが行われています。その地域づくりを進めていくうえで、地区住民と行政の橋渡しとして、重要な役割を担うのが区長です。

地域づくりにおける区長の役割

区長は、市の非常勤特別職として、月二回の広報物の配布・回覧を通し、市の情報を住民に知らせています。毎年七月に開催される「区長と市長のまちづくり会議」では、地域の課題から市全体を見据えた市政への意見などを市長と直接話し合っています。

また、地域における課題解決のため、隣接する行政区と連携して地域活動を行う場合などにおいても、その調整役として重要な役割を担っています。

区長役員研修で多賀城市を視察

区長協議会では、年一回の全体研修と役員研修を行っています。研修会では、自主防災組織やまちづくりに取り組んでいる先進地を視察しています。

今年の役員研修では、宮城県多賀城市を訪れ、まちづくりの基礎として取り組んでいる「地域の話し合いの場づくり」について研修しました。この取り組みは、より良い地域にするために、みんなで語り合い、地域に誰もが参加できる「話し合いの文化」を根付かせようというものです。

視察した役員からは「地域づくりは話し合いの場づくりから。この取り組みは新庄でもできそうな感じがした」との声も聞かれました。

▲区長役員研修で多賀城市の取り組みについて研修（10月13日／多賀城市大代地区公民館）

研修報告　宮城県多賀城市の取り組み

多賀城市住民自治基盤形成事業
おらほのまち彩発見

こみゅにてぃプロジェクト

みんなで話し合い、「わたしの思い」を「わたしたちの思い」へ。「こみゅにてぃプロジェクト（愛称・こみプロ）」は、地域の元気をみんなで作り上げるプロジェクトです。現在、市内を4地区に分け、話し合いを重ねています。

思いや資源を持ち寄る場 — 力を蓄える —	つながりをつくる場 — 人を結ぶ —
話し合いの場づくり	
自治の土台をつくる場 — 経験を積む —	まちづくりを考える場 — 夢・知恵を集める —

住民自治基盤形成	
話し合いの文化の創造	住民による学びの場づくり
地域リーダーの発掘と養成	地域自治の主体形成

■ 宮城県多賀城市 ■

○人口 62,866人　○世帯 24,733世帯

奈良時代初期に陸奥国の国府が置かれて以来、約1280年の歴史を持つ「史跡のまち」。現在は、政令指定都市仙台市に隣接する広域仙台都市圏の中核都市です。

重要　こみプロ3つの約束

～上手に話し合いを進めるために～

①認め合う　②否定しない　③違いを知る

【今後の取り組みの課題】

「市民参加と協働によるまちづくりの実現は、長期的スタンスで取り組むことが必要。また、その成果も早急に現れるものではない。このため、事前の取り組みを丁寧に行い、自治体の将来ビジョンと連動させながら『住民自治の基盤形成』から『住民主体の協働によるまちづくり』までを一貫したコミュニティ政策として取り組んでいくことが必要」～多賀城市視察資料より抜粋～

福宮区長
福宮自治会長
髙山 和男さん

市から委嘱されている区長としての仕事と、自治会長として地域のまとめ役の仕事を兼務している髙山さん。
忙しい毎日ではありますが、より良い「地域づくり」について考えています。

地域のまとまりを大切に

福宮地区は、戸数が五十二戸と少ない地区ですが、何をするにも協力的でまとまりがある地区だと自負しています。

地区での主な活動としては、清掃や植花などの美化活動と公民館や遊具の雪囲い、広場の草刈りなどの作業活動、七月の公民館まつりなどのレクリエーション活動があります。

どの活動にも多くの住民の方が参加して交流を図っていますが、若い世代の参加者ももっと増えると、さらに、地域が盛り上がってくれると感じています。

また、地区の活動や話題を知らせるために、市からの回覧に合わせ『広報ふくみや』を独自に発行しています。発行作業は手間もかかり大変ですが、活動の様子を写真で紹介することにより、活動の励みにもなっていて、好評を得ています。

自治会の運営については、いろいろ課題も出てきますが、その都度、公民館に集まり、話し合って解決するようにしています。

これからも、より住みやすい地区を目指して、自主防災組織の結成など、防犯・防災面の強化を行っていきたいと考えています。それには何より、今の地区のまとまりを大切に守り、さらに発展させていかなければならないと感じています。

Regional Power — 地域力

地域力 Chapter 4

「人ふれあうまち」の実現を目指して

今回の特集では、「地域力」をテーマに、地域の現状や、さまざまな取り組みを紹介してきました。

今後も進行が予想される人口減少・少子高齢化社会のなかで「地域力」向上のために、新たな地域づくりのかたちを目指す必要があります。

地域づくりは、話し合いからはじまります。地域の催しなどに参加して地域の良いところや課題を見つけ、話し合いにより地域の住民が主体となって課題解決に向けて協力していくことが必要です。

近年の地域づくりでは、いくつかの地区（行政区）が連合体となり、予算や組織を一つにし、地域課題の解決に取り組む事例が多くなっています。

今後、災害時の自主防災や協力体制の確立、地域の環境整備などさまざまな課題解決のため、単独の地区ではなく、近隣の地区と協力して取り組むことが重要となります。

市では、地域の課題を自ら解決できる組織づくりを進めるため、自主的な地域自治活動を支援し、地域と行政が協働で取り組める体制を整えていきたいと考えています。

今後も、地域コミュニティの活性化と協働によるまちづくりを推進し、誰もが安心して暮らすことができる「人ふれあうまち」の実現を目指します。

地域と行政の協働により「人ふれあうまち」を実現

- 自主的な地域自治
- 地域での課題解決
- 話し合い（地域課題の共有）
- 地域活動への参加（地域課題の認識）

新庄市まちづくり総合計画（第四次新庄市振興計画）

まちづくり基本計画を答申

時代の変化に対応したまちづくりを市民の皆さんとともに進めていくための指針となる「まちづくり総合計画」。新庄市まちづくり総合計画策定委員会が原案を作成し、このたび新庄市振興計画審議会より基本計画が市長に答申されました。原案作成前に実施した意見公募に寄せられた意見と基本計画の概要をお知らせします。

▼基本計画の概要

基本構想の将来像・基本目標・政策を実現するための四十五の施策（百十一の施策展開）を掲げ、計画目標の実現を目指します。また、全体的な施策体系の中で、特に重要な三つのテーマについて重点プロジェクトを設定し、重点的に取り組みます。

今後、答申に基づき基本計画を決定し、具体的な事務事業を定める前期五カ年実施計画（平成二十三年度～二十七年度）により、事業展開していきます。

なお、答申を受けた基本計画の全文は、市ホームページで閲覧することができます。総合計画書の概要版は、来年三月頃に全戸配布の予定です。

▼基本計画への意見公募で寄せられた意見

■意見募集期間
九月十日㈮～十月十一日㈪

■意見提出件数
二十九件（提出者六名）

●意見／市の考え

●市民や行政・事業者・団体が共に話し合えるまちづくりの拠点としてエコロジーガーデンを活用しては？／市民の集いの場となるようエコロジーガーデンを整備していきます。

●市民活動交流ひろば「ぷらっと」を市民活動センター化し、ボランティア情報の一元管理・発信・マッチング（仲介・あっ旋）を行っては？／具体的な事務事業の中で「ぷらっと」運営・改善の参考とさせていただきます。

●廃校・空き店舗をレンタルオフィス化し、市主体で後継者育成（個人商店・新規起業家・就農者向け）のための支援を行っては？／具体的な事務事業の組立の参考とさせていただきます。

●市議会をインターネットで動画配信し、議員の政治活動報告会を開催しては？／議会改革・活性化検討会の検討結果をもとに早期実現に向け検討します。

●生ごみ堆肥化事業の本格実施を。／現在、検討しています。

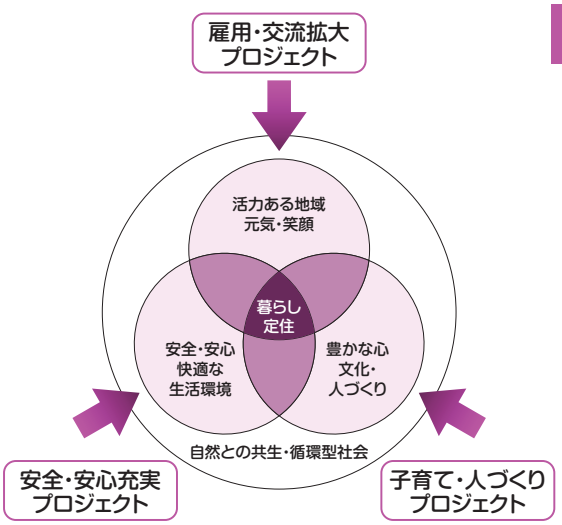
●上級生と下級生など子どもどうしの力を健全育成に活用しては？／「地域に根ざした学校教育の推進」において、小中一貫教育を推進しながら子どもたちの上下の交流を推進していきます。

●旧山屋小学校を早期に改修し、文化・体育・地域活動の研修・合宿所として活用しては？／施設の利活用について現在検討しています。

●市民が一番要望しているのは「しっかりした職場」であり、その確立こそ今、行政に求められている最大政策である。また、この政策に最低限必要な数億円の資金をいかに捻出するかも大切である。非常に困難だが全国の成功例から学ぶべきである。人口の大幅減少を止めるには、今後、三年間の政策がポイントである。／働く場の確保のため、重点プロジェクトとして「雇用・交流拡大プロジェクト」の取り組みを進めていきます。

※内容は抜粋・要約しています。ご意見全体は市ホームページで閲覧できます。

振興計画審議会会長より基本計画の答申（11月19日）



重点プロジェクト「暮らし、定住、未来創造」

基本計画では将来像の実現のために、全体的な施策展開の中でも特に重要な3つのテーマの重点プロジェクトに取り組みます。

雇用・交流拡大プロジェクト

●農業の6次産業化　●農商工連携、販路拡大　●エコロジーガーデンの活用　●農業従事者の確保　●製造品の高付加価値化　●新たな産業の創造　●企業誘致対策の強化　●新庄まつりの充実と振興　●地域資源を活かした観光振興　●都市との交流促進

安全・安心充実プロジェクト

●各種検診受診率の向上　●予防接種の充実　●介護保険サービス基盤の充実　●自主防災組織への支援　●市民参加型スポーツの普及　●市民と一体となった除排雪体制の強化　●道路除雪体制の強化　●流雪溝整備の推進　●生活排水処理施設の整備促進　●デマンド交通システムの導入

子育て・人づくりプロジェクト

●保育機能の充実とネットワーク化　●医療費助成の拡充　●子育て相談窓口の拡充　●妊婦検診の充実　●「いのちの教育」の推進　●読書教育の推進　●小中一貫教育の推進　●ふるさと学習の推進　●地域のリーダー育成　●環境教育・環境学習の推進

将来像　自然と共生　暮らしに活力　心豊かに笑顔輝くまち　新庄

基本目標	政策	施策（基本計画）
いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	農業所得の向上を目指し、やりがいのある農林業を確立する	●農業経営基盤の強化 ●意欲ある農業者の育成・確保 ●活力ある農村環境づくり
	多様な連携を強化し、活力ある商工業を確立する	●商工業の振興 ●企業の誘致と支援 ●人材育成と就労支援
	地域資源を磨き、魅力ある観光産業を確立する	●地域資源の磨き出しと活用 ●交流の促進
みんな健康で、笑顔あふれるまち	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する	●子どもの保育・教育環境の充実 ●家庭における子育てへの支援 ●子どもの発育支援 ●地域による子育て支援
	健康でいきいきと暮らせる地域をつくる	●医療体制の充実 ●健康づくりの推進
	ともに支え合い、安心して暮らせる地域をつくる	●高齢者をともに支えていくシステムづくり ●障がい者をともに支えていくシステムづくり ●家庭生活を支えていくシステムづくり
	市民が連携し、防災・防犯に強い安全で安心な地域をつくる	●防災体制の充実強化 ●交通安全と防犯体制の強化
ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	●生きる力と夢を育む学校教育の推進 ●地域に根ざした学校教育の充実 ●安全安心な教育環境の整備
	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	●生涯にわたる学びの推進 ●活力みなぎる地域活動の推進 ●市民が輝く文化芸術の振興
	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	●多様なニーズに応える生涯スポーツの振興 ●新たな活力を生み出す競技スポーツの振興
社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	冬の快適な暮らしを実現する	●克雪対策の推進 ●雪と暮らすライフスタイルの確立
	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	●安全で人にやさしい道路の整備 ●住みよい住宅環境の整備 ●緑とうるおいある生活環境の整備 ●安全な水道水の安定供給 ●良好な水環境の保全 ●自然災害を防止するための基盤整備
	利便性が高く機能的な都市基盤を整備する	●機能的交通体系の確立 ●魅力ある市街地の形成
自然と共生し、環境にやさしいまち	豊かな自然環境を保全する	●自然環境保全への取組と市民意識の涵養
	良好な生活環境と資源循環型社会の形成を図る	●清潔で快適な生活環境の維持 ●ごみの減量化と再利用・再資源化の充実
	地球温暖化の防止に努める	●クリーンエネルギー等の活用推進と省　エネルギー対策への取組
協働による誇りもてるまちづくりを進め、計画を実現します	市民が参画し、世代間の交流を図りながら、地域の特性を活かしたまちづくりを行う	●まちづくり活動に参加しやすい環境の整備 ●世代間の交流と市民主体のまちづくりの推進
	行政の効率化を図り、健全で効果的な行財政運営を行う	●市民ニーズに応えられる行財政基盤の確立 ●広域行政の推進

事務事業・施策評価結果をお知らせします

市は、平成二十一年度に実施した三百九十二の事務事業と六十一の施策について評価を実施しました。評価結果に基づき、事務事業では、継続・休止・終了、施策では、向上・維持・縮小の区分で今後の方向性を示しましたのでお知らせします。

市民による外部評価を試行
今回の評価では、初めて市民による外部評価も試行実施しました。外部評価会議には、市民の代表として市行政改革市民委員9名と、座長として東北公益文科大学・和田明子准教授が出席。福祉や医療、教育など5つの事業について、必要性や効率性などの視点からご意見をいただきました。事業への反映を図りながら、市では来年度からの外部評価の導入に取り組みます。（10月26日／ゆめりあ会議室）

★★★

事務事業評価 392事業

市が実施した392の事務事業について指標を用いて自己評価を実施。業績測定と項目別評価により担当者が評価し、さらに所属長の全体評価により今後の方向性を示しました。

■評価対象の種類
【説明事業】
法令などで義務付けられる事業、対象が市役所内部のみの事業
【評価事業】
市の判断で実施している独自事業

■評価の方法
【業績測定】
事業の成果を数値化する成果指標を設定し、その目標値に対しどれだけ近づいたかで評価しました。
【項目別評価】
「必要性」＝市が実施しなければならない事業か
「貢献性」＝公共性があり、政策・施策の目的に合致しているか
「妥当性」＝実施手段や手法は適切か
この三つの視点から評価しました。

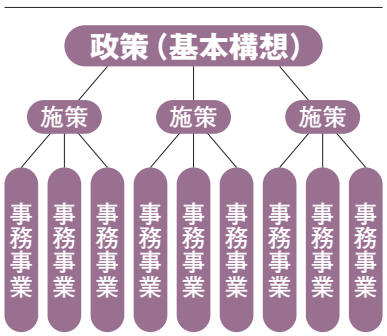
事務事業の評価結果（392事業の内訳）

説明事業（法定・内部事業/136事業）	
評価事業（独自事業/256事業）	
継続 246事業	拡大（44事業）今後は、予算・人員など規模を拡大して継続すべき事業 現行（199事業）今後も現在と同等の規模で継続すべき事業 縮小（3事業）今後は、手段・手法を改善し規模を縮小して継続すべき事業
休　止 2事業	平成21年度で休止した事業、または平成23年度以降当分の間、休止する事業
終　了 8事業	平成21年度で終了した事業、または平成23年度以降終了すべき事業

主な事業の評価結果（現行のまま継続する事業を除く）

区分	事　業　名	評　価　内　容	担当課
拡大	協働推進事業	市民参加型の市政を確立するよう努める	総　務　課
	子育て支援センター事業	相談指導、サークル支援・育成、情報提供の拠点としての主導的な役割を担っていく	福祉事務所
縮小	保育所管理運営事業	今後の計画を早急に具体化する必要がある	福祉事務所
	TMO構想推進事業	事業推進体制に課題がある	商工観光課
休止	地方バス路線維持事業	国庫補助対象の路線が廃止となった	政策経営課
	農地有効利用支援整備事業	耕作放棄の防止が図られた	農　林　課
終了	最上地区市町村駅伝大会運営事業	選手の確保や陸上長距離強化の目的が達成された	生涯スポーツ課
	中学校給食導入事業	親子方式を導入し完了した	学校教育課

政策体系図



政策（基本構想）、施策（基本計画）、事務事業（実施計画）のうち施策と事務事業について評価を実施。事務事業については、市民による外部評価を試行。

★★★

施策評価 61事業

市が実施した61の施策について指標を用いて自己評価を実施。成果指標による達成度や、施策を構成する事務事業の施策目的への貢献度について、担当課長による一次評価、市三役と行政評価推進委員による二次評価を行いました。

■評価の方法

一次評価、二次評価とも一年間実施した成果の達成状況を前年と比較し評価しました。

■評価結果

【向上】三十一施策（前年より成果が向上した施策）
【維持】二十八施策（前年の成果を維持した施策）
【減少】二施策（前年より成果が減少した施策）

六十一施策のうち第三次振興計画後期五カ年計画の重点施策（十一施策）の評価結果は下の表のとおりです。

■評価結果の活用と公表

効率的、効果的な行政経営の基盤となるのが行政評価です。評価結果は、事務事業・施策の見直しや予算編成などの財政運営、振興計画の進行管理に活用していきます。

評価表は、ホームページ、図書館、政策経営課でも閲覧できます。より効果的な行政評価にするため、評価方法や結果についてご意見、ご感想をお寄せください。

◎政策経営課企画政策室☎内線242
メール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

重点施策の評価結果

区分	施策名	成果指標	20年度	21年度	総合評価
にぎわい	都市機能の根幹である道路、街路の強化と生活空間の整備を行う	道路整備、河川整備に対する市民の満足度（市民アンケート調査）	40.7%	42.2%	維持
	中心商店街の活性化を図る	中心商店街の活性化に対する市民の満足度（市民アンケート調査）	35.0%	36.6%	向上
くらし	必要な医療を安心して受けられる体制をつくる	夜間休日診療所利用患者数 献血者数	4,415人 1,261人	4,756人 1,316人	維持
	子育て支援を充実する	学童保育の利用率 わらすこ広場利用者数	10.4% 46,627人	13.6% 44,354人	向上
	消流雪用水の安定した水源確保と流雪溝整備を推進する	消流雪用水整備に対する市民の満足度（市民アンケート調査） 消流雪用水受益者世帯数	14.4% 3,000世帯	16.0% 3,000世帯	向上
産業	稲作を主体とした生産性の高い複合経営を構築し、農業所得の維持向上を図る	市振興作物である園芸作物（9品目）の販売額 市で収穫された農産品（米・大豆・ニラ）収穫量	6億円 21,243トン	6.44億円 23,260トン	向上
	企業立地の促進・地場産業における経営基盤と競争力強化の促進を図る	新庄中核工業団地への進出企業立地数 市内事業所数	0社 1,200社	0社 1,206社	維持
	雇用の安定と勤労者福祉の充実を図る	勤労者生活安定資金利用者数 福利厚生事業への参加者数	20人 341人	23人 328人	維持
文化	家庭教育に係る環境の充実を図る	家庭教育学習会参加者数 「私立幼稚園就園奨励事業」補助金交付園児数	677人 350人	相談会のみ実施 345人	維持
	いのちを大切にし、共生の心を身に付けた新庄っ子を育成する	不登校児童生徒数 読書が好きな子どもの割合（市民アンケート調査）	38人 51%	37人 57%	向上
環境	ごみの分別、資源化、減量化を進める	ごみ収集量（可燃・不燃・粗大） 資源ごみの回収量（資源回収・生ごみ）	7,454トン 2,341トン	6,555トン 2,462トン	向上

雪国のルールを守って快適に

●除雪出動式
（11月12日／市道路維持管理センター）

◎都市整備課雪対策・道路管理室
☎内線529～534

✻市の除雪体制

除雪車は、午前三時現在の降雪量が十センチ以上の場合に出動します。また、路面に吹きだまりや輪だちが生じ交通が困難となった場合や、積雪で道幅が狭くなった場合などに出動します。市道の除雪は交通の妨げにならないように午前七時三十分までに作業が完了するよう努めています。

二十二年度の市道の除雪路線は、延長二百十九キロ。主要幹線道路、バス路線、地域的に主要な道路・公共施設への道路などです。

除雪の主力は機械除雪です。除雪車は貸与・委託合わせて約百台。除雪路線は全面委託ですが、市直営では、主要路線の排雪作業や、雪で狭くなった道路の幅出し（道幅の確保）を重点的に行います。

また、私道（生活道路）についても基準を満たす場所は市が除雪しており、約四十キロの除雪を実施しています。

✻除雪作業にご協力を

●除雪後の道路に屋根や敷地内の雪を出さないでください。

●夜間の路上駐車は、除雪や通行の障害となるので絶対にしないでください。

●垣根やブロック塀など、除雪作業で破損するおそれがあるものには目印をしてください。

除雪した雪を玄関や車庫前に置いていかないでほしいとの声をいただいていますが、限られた時間内で通勤・通学路の確保が必要なため、対応できませんので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

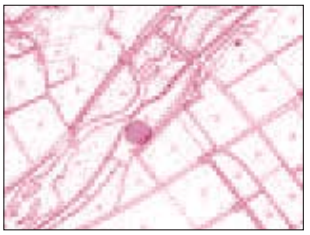
✻小型除雪機をお貸しします

●対象団体　町内会
●貸出台数　一台
●貸出期間　十二月二十一日㈫～三月二十二日㈫
●貸出日数　一日～五日
●利用方法　高齢者住宅・生活道路・通学路など町内での公的な除雪
※町内会で、機械の運搬と傷害保険への加入が必要です。

◎都市整備課雪対策・道路管理室
☎内線531・532

市指定雪捨て場

■仁間地区／新庄市農協仁間倉庫脇



■泉田地区／泉田河川公園上流

■下田地区／下田地区内の升形川

■福宮地区／浄化センター西側敷地

※下田地区へは大型ダンプでの搬入はできません。また、住宅地なので、搬入する時間（午前８時30分～午後５時）を厳守してください。

都市公園を雪捨て場として利用される皆さんへ

○大型機械や、トラック・ダンプなどで雪を持ち込んで捨てたりすることは禁止します。
○近隣の皆さんが公園に雪を捨てる場合は、スノーダンプやソリなどで公園内の樹木や遊具を傷つけないよう注意してください。

安全な雪下ろしを

■屋根の雪は早めに下ろしましょう
安全のため積雪70センチになる前に雪を下ろしましょう。

■作業中の安全対策
作業中は、落下防止ロープを装着し、できるだけ複数の人数で作業をしましょう。

■雪下ろしは重量バランスを考えて
屋根の片側だけを集中的に下ろさないで、雪の重さが均等になるよう注意しましょう。

■下ろした雪の排出
下ろした雪は道路に出さず、運搬業者に依頼するなど適切に処理しましょう。

■電線・電話線に気をつけて
作業中の感電や、電線・電話線の破損に注意しましょう。

流雪溝の利用ルール

流雪溝は、上手に使えば大きな力となります。雪入れのルールを守ってご利用ください。

■鉄筋の格子ふたは外さないでください
流雪溝の中にかけている鉄筋の格子ふたは、歩行者の危険防止と水上がりを防止するためのものです。流雪溝をつまらせないためにも、外さないで利用してください。

■流雪溝に機械での投雪はしないでください
機械による投雪は絶対にしないでください。また、屋根から直接、流雪溝などに落下しないよう雪崩止めをしてください。

■開けたふたは元に戻しましょう
投雪し終わったら、流雪溝の投入口に必ずふたをしましょう。ふたを開けているときは、危険防止のため、旗などの目印を立ててください。

匠の技

平成22年度新庄市卓越技能者表彰

建築板金で若年層を育成 銅板加工の匠

建築板金工
松田 安雄さん（本合海）

松田さんは41年間にわたり、建物を長く維持するのに最も重要とされる屋根工事などを手掛けてきました。特に、入母屋造りの神社や仏閣において、伝統的な技術である棟鬼紋章や銅板の打ち出し板金による家紋の製作に定評があります。

現在は、山形県技能検定委員として、1・2級のダクト板金審査員としても活躍。また、業界の組合活動に貢献しながら、弟子7人を育て、さらには山形県板金工業組合の執行部において、若年者との交流・話し合いを重ねながら後進の指導育成にも尽力しています。

松田さんは、「これまでに培ってきた技術を若い人たちに伝えていきたい」と話し、今後も若手職人への指導に意欲を示しています。

木造建築一筋 和風建築の技能を伝承

建築大工
渡部 敏さん（本宮）

渡部さんは52年間にわたり、木造建築一筋に取り組み、特に、バランスの取れた曲がり屋根や千鳥破風を主体とした軒先の製作に卓越した感性と技術を持っています。長年の経験と熟練した技能を必要とする和風建築の分野において数少ない技能伝承者の一人です。

また、新庄建築大工組合の役員として、組合員の社会的、経済的地位の向上や業界の発展に尽力してきました。渡部さんは、教材として鶴岡市善宝寺の五重塔をモデルとした30分の1の模型を製作し、後進の指導・育成にも力を注ぎ、その模型を市民プラザに展示することにより木造建築のすばらしさを広くアピールしました。

渡部さんは、「在来工法のすばらしさを後世に残したい。そのためにも、若い人と交流しながら技術を引き継いでいきたい」と話してくれました。

※今月の「いきいき新庄人」はお休みします。

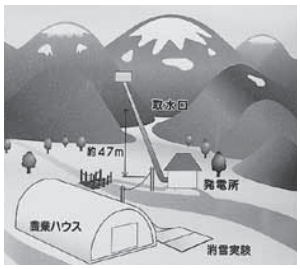
エコトピ eco-topics

水の流れを電気の流れに!
～小水力発電活用実証調査in土内～

市が、NPO法人東北地域エネルギー開発機構に委託し実施している小水力発電活用実証調査。11月29日、土内地区の協力のもと実証実験が開始されました。

小さな水力発電所

この小水力発電は、泉田川土地改良区の協力により、農業用水を利用したものです。水源と発電装置の設置場所の落差は約50メートル。水流により発電装置のタービンを回します。発電した電力は、農業ハウスに回され、遠赤外線面状発熱ヒーターを苗箱の下に敷き土を温め、蛍光灯による人工灯試験と併せて野菜栽培の実証調査を行います。また、メッシュ状の発熱体の設置による消雪試験も同時に行います。



■発電装置
毎秒約0.045立方メートルの水が流れ、水流でタービンを回し発電。発電量は約4kw。

■野菜栽培実証調査
苗床の下に発熱パネルを敷き、葉物野菜5種類（ホウレンソウ、チンゲンサイなど）を植える。種まきは、土内地区を代表して萩野小4年生の畠腹巧巳くんが担当。

■消雪実証調査
農業ハウス前にメッシュ状の発熱体を敷き、施設周辺の消雪効果について調査する。調査開始日には、雪が降ったが、施設前の発熱体を敷いた部分が消雪されている。

このほか、土内地区の各家庭での電気使用に関するアンケート調査も実施し、集落での自家発電の可能性などについても探ることとしています。地域と共に取り組むクリーンエネルギー活用。小さな発電所の大きな挑戦が始まりました。
◎詳しくは、政策経営課企画政策室へ。☎内線242

市長コラム

山尾順紀

被爆ピアノ朗読コンサートで感じた平和の大切さ

十一月二十二日(月)、平日にもかかわらず市民プラザ大ホールは満員。昭和二十年、太平洋戦争の敗戦を決定づける広島への原爆投下は、一瞬にして多くの命を奪い去りました。その傍らでかろうじて姿を留めた〝被爆ピアノ〟が、この日新庄で演奏されました。

六十五年たってもいまだその恐怖を伝えるパワー。一方、そのパワーは、平和への祈りを誓う機会も与えてくれました。大きな犠牲の上に、今の日本があることをあらためて教えられ、世界で唯一の被爆国の国民として、また、平和宣言都市として、原爆の恐ろしさを世界に伝えていかなければなりません。

今回のピアノ演奏と、平和の祈りを込めた朗読をとおして、会場に集まった多くの市民の皆さんも、わたしと同様の思いを抱いたのではないでしょうか。

わらすこ広場 WARASUKO HIROBA

めごめご通信

第9号

知って防ごう! 感染症対策

感染性の病気の中には、冬に流行するものが多くあります。
そこで、今回は子どものかかりやすい代表的な感染症を紹介します。

◆流行性嘔吐下痢症（ウイルス性胃腸炎）…原因としてノロウイルスやロタウイルスなどがあります。
○潜伏期間／一～三日
○感染経路／経口感染・飛沫感染
○主な症状／突然の嘔吐、下痢（すっぱいにおいがして、粘液が混じったり、白っぽかったりする）。熱が出ることもある。尿の量が急激に減り、脱水症状を起こしやすい。

【嘔吐物の処理に注意！】
マスク・手袋・エプロンを付け、換気し、嘔吐物を布などでふき取り、二重にしたポリ袋に入れ、周囲を塩素系漂白剤などで消毒。マスク・手袋・エプロンも破棄し、ていねいに手洗い・うがいを。

○ホームケア／嘔吐が始まると水分が不足するので水分補給し、消化の良い食べ物を。おむつ交換は、おしりをお湯で洗い、軽くふき取り、交換後は必ずせっけんで手を洗う。調理するときも、必ずせっけんで手を洗い、生の魚介類を調理したまな板は、熱湯消毒をする。

【こんなときはすぐ病院！】
一日中吐き続ける・顔色が悪い・唇が乾く・おしっこが少ない。

ノロウイルス予防四カ条
①**食品対策**／生物は極力避け、八十五℃で一分以上加熱調理する。
②**手洗い**／ウイルスを洗い流すため、必ずせっけんで手を洗う。
③**衛生管理**／調理器具の使用後はときどき塩素系漂白剤につけ殺菌。
④**汚物処理**／嘔吐物や便を処理するときは、マスクとプラスチック手袋を着用し、周りの汚染を防ぐ。

◆インフルエンザ
○潜伏期間／一～二日
○感染経路／飛沫感染（ウイルスで汚染された手指からの感染も）
○主な症状／突然の発熱や強い頭痛、全身倦怠感、筋肉や関節の痛み、食欲不振、咽頭痛、せき、くしゃみ、鼻水、嘔吐、下痢、腹痛も。重い合併症もあるので注意！

○ホームケア／脱水症状になりやすいので、水分補給。嘔吐のため飲みにくいときは、十五～二十分おきに少しずつ。睡眠をとり、暖かくして安静に。室温二十～二十二℃ほど、湿度六十～七十％ほどに保ち、定期的に換気を。栄養バランスが良く、食べやすい物を。できるだけ早く医師の診断を受けましょう。

12月のわらすこワンダーランド

○とき　12月18日㈯午前10時～
○ところ　わらすこ広場
○内容　サンタさんのマジックショー、人形劇、おさがり交換会など
◎入場無料
詳しくは、新庄市地域子育て支援センターへ。
☎22-5115

わらすこ広場の年末年始休み
12月29日㈬ 定休日
12月31日㈮ 大晦日
1月1日㈯ 元旦

郷土の歴史

ひとくち新庄市史

㊺ 官公署の設置 ～警察署・裁判所などのはじまり～

明治五年二月、山形県は捕亡吏（罪人を捕らえる役人）の人員を定め、管内に配置した（新庄出張所には五人）。捕亡吏は、明治八年三月には邏卒と、さらに同年十月には巡査と改められ、以後この呼び名が定着した。

明治八年十二月の内務省布達を受け、まもなく山形警察署尾花沢出張所新庄屯所が設置されたが、翌年九月には第四警察出張所新庄第一屯所に、翌十年二月には、尾花沢警察署新庄分署となった。

さらに県内の警察機構の整備が進み、同年七月、新庄警察署（当時は「新荘警察署」と表示）が新設された。新庁舎は、明治十年十二月、北本町（現在の「こらっせ新庄」辺）に竣工されたが、二階建てで、正面玄関の上がバルコニーの斬新なものであった。警察署のすぐ脇には監獄署（山形監獄新荘支署）もあった（明治十九年秋竣工）。

裁判所は、明治九年四月に山形県裁判所が設置され、この時、新庄に支庁が置かれた。明治十二年、福島裁判所管内新庄区裁判所が設置され、最上郡全体を管轄区域とした。その後、新庄治安裁判所（明治十五年）、新庄区裁

議員と高校生が意見交換
～共に考える市の将来像～

（11月15日／市民プラザ）

議会の活性化や市民との連携など、今後の議会のあり方を探ろうと議会に設置された「議会改革・活性化検討会」。このたび、若い人の意見を直接聞こうと、検討委員の議員七人と市内四校の高校生二十七人が参加し、意見交換会が行われました。

高校生からは、「議員さんが目指す市の理想像は？」、「市のセールスポイントは？」などの質問や、「若者が地元で働ける職場環境を整えてほしい」、「新庄まつりをもっと盛り上げてほしい」などの要望が出されました。高校生の「若い世代に期待することは？」の質問に議員は、「志を高く持って目標を達成してほしい。故郷・新庄を誇りに思ってほしい。失敗を恐れず、自分の可能性を信じて進んでください」と激励の言葉で答えていました。

また、新庄南高総合ビジネス科マネージメントコースに所属する六人の生徒は、今年の観光甲子園で特別賞を受賞した「一日商店主体験ツアー」の提案を行いました。これは、百円商店街に出店し、商品の仕入れから販売までの体験を行い、子どもの頃の「お店屋さんになりたい」という夢を実現させようというものです。さらに、この企画を全国各地で実施し、商店街の活性化につなげてもらおうと考えています。

参加した高校生の前向きな意見や態度に、新庄の明るい未来が垣間見える意見交換会となりました。

今月の本

12月のおすすめ

『藩と県 日本各地の意外なつながり』草思社／出版

新政府軍と戦った庄内藩になぜ西郷隆盛を祭る南洲神社が建ったのか。加賀藩から松本藩へ抜ける隠し路の密約とは。

食べ物、名物、有名人、歴史秘話など、江戸から明治にかけての藩の交流エピソードを47都道府県別に紹介します。

2010 国民読書年

今月のテーマ展示
『ヒーロー&ヒロイン』

歴史上の人物、探偵、弁護士、怪盗、魔法使い、アニメや映画のキャラクター、身近な家族などなど。それぞれに思い描くヒーロー、ヒロインはさまざまだと思います。

今月はそんな英雄が出てくる本を集めてみました。この機会にみなさんが憧れる主人公を探してみてはいかがでしょうか。

●児童図書●

めぐる季節の物語……星野　道夫
うらやましやゆうれい……苅田　澄子
まどれーぬちゃんとまほうのおかし…小川　糸
ちょんまげくらのすけ……最上　一平
折り紙でたくさんの笑顔を 盲目の「折り紙大使」加瀬三郎物語……田島　栄次
とげとげ（絵 佐藤茉莉子山形県出身）…内田麟太郎
ぼくはぼくのえをかくよ……荒井　良二
ぼくがおおきくなったら……くすのき しげのり

●一般図書●

禁煙はじめました……伊藤三巳華
クルマのメンテナンス……青山　元男
裏も楽しい手編みのマフラー……嶋田　俊之
絵本の森でうまれたバッグ……川角　章子
野菜がおいしいタジン鍋……牛尾　理恵
年収150万円一家毎日のこんだて…森川　弘子
子どもに薬を飲ませる前に読む本（健康ライブラリー）……山田　真
座布団一枚!ー桂歌丸のわが落語人生ー…桂　歌丸
夢を見るために毎朝僕は目覚めるのです～村上春樹インタビュー集1997-2009～…村上　春樹
生まれてバンザイ……俵　万智
マリアビートル……伊坂幸太郎
通りゃんせ……宇江佐真理
カウントダウン……佐々木　譲
さよなら、アルマ～戦場に送られた犬の物語～…水野　宗徳
チア男子!!……朝井　リョウ

■開館時間:午前10時～午後6時
■休館日:毎週月曜日
◎市立図書館☎22-2189

蔵書検索

判所（同二十三年）と改称し、庁舎は明治三十年十二月に落成した（金沢二十番地）。

新庄税務署の初めは、明治十一年に置かれた山形県収税部の新庄収税署とみられ、明治二十九年に新庄税務署と改称されたようである。馬喰町にあった庁舎は、明治四十四年の新庄大火によって焼失し、翌年小田島町に移り、さらに、南本町、下仲町、大手町、宮内町へと移転した。

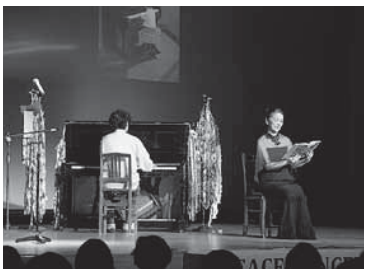
営林署は、明治九年に山形県営林署新庄派出所として設置され、明治十一年に独立して新庄小林区署となり、同二十五年、大手町（歴史センター向かい）に新庁舎が建設された。

このほか、明治時代に新庄町に置かれた官公署として、新庄郵便局、新庄町役場、最上土木出張所、新庄駅、山形県種畜場、鉄道院建設事務所などがあった。

■最上川さくら回廊事業記念植樹（11月6日／エコロジーガーデン）

最上川さくら回廊事業の植樹式が開催され、ソメイヨシノ、シダレザクラ合わせて40本が市民の手により植えられました。農業公園として整備を進めているエコロジーガーデンの桜並木として新たな市民いこいの場となります。

■被爆ピアノ朗読コンサート（11月22日／市民プラザ）



広島で被爆したピアノと朗読によるコンサートが開催されました。被爆ピアノは、これまで全国各地をまわってきましたが、県内での開催は初めて。コンサートを前に日新小学校でも演奏会が開かれ、子どもたちに恒久平和を訴えました。

■ふるさとコンサート2010（11月27日／市民文化会館）

新庄出身の声楽家田中麻理さん(ソプラノ)、江口順子さん(ソプラノ)、井上雅人さん(バリトン)に、鮭川出身の高橋誠也さんをナビゲーターに迎え、ふるさとコンサートを開催しました。ふるさと新庄で世界の名曲やオペラなど最高級の歌声を披露しました。

■第4回市民活動フェスタ「カツフェス」開催!

（11月27日／ゆめりあ）

ボランティアやNPOなどによる市民活動を広く市民に知ってもらいたいと第4回市民活動フェスタ「カツフェス2010」を開催しました。この催しは、市民活動交流ひろば「ぷらっと」が市内の各団体とともに開催。会場では、昔遊びなどの各種体験コーナーや屋台、フリーマーケットなどが開かれ集まった市民や各団体の会員が交流を通し“市民活動”への理解を深めました。

■育てよう!みんなの子ども・みんなのふるさと

（11月14日/市民プラザ）

次代を担う子どもたちの心豊かな人間性や社会性をはぐくもうと新庄市教育の日記念行事を開催しました。市内の幼稚園、小・中学校、高校の児童・生徒、PTAなどによるステージ発表のほか、木工クラフトや紙工作、輪投げなどの“だがしや楽校”も開かれ、参加した子どもたちが楽しみながら交流を深めました。

しんじょう まちかど TOPICS

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

TOPICS まちかど

■第32回新庄市総合体育大会

（1位のみ掲載）

【バレーボール】一般男子北新会**一般女子**Mint**中学女子**日新**【サッカー】5・6年生の部**日新サッカースポ少／**4年生以下の部**泉田サッカースポ少**【ソフトボール】一般の部**新庄地区協会混成チーム**【柔道】男子**／小学1・2年生大内翔吾（日新柔道スポ少）**同3・4年生**笹原陸（神室柔道スポ少）**同5・6年生**庄司陸（神室柔道スポ少）**中学生団体**日新女子／**小学1・2年生**溝口葵（練成会）**同3・4年生**阿部汐華（練成会）**同5・6年生**福嶋佳愛（神室柔道スポ少）**中学生個人**矢口詩織（新庄）**【クレー射撃】**トラップC小内信也／**トラップS**渡部市太郎／**スキート**栗田広好／**総合**小内信也**【空手道】形競技**／**ジュニア4男女混合**星川愛斗（泉田小）**ジュニア3男女混合**荒木翔太（新庄小）**ジュニア2男女混合**齋藤沙希（北辰小）ジュニア1男子齋藤蓮（明倫中）**ジュニア1女子**伊藤希恵（日新中）**高校・一般男女混合**笹原秀樹（山形メタル）**組手競技**／**ジュニア3男子**荒木翔太（新庄小）**ジュニア3女子**阿部莉々子（沼田小）**ジュニア2男子**笹原渉平（萩野小）**ジュニア1男子**齋藤蓮（明倫中）**ジュニア1女子**伊藤希恵（日新中）**【バドミントン】男子複合**／**小学4年生**石山康生・長南青空（奥羽ジュニア）**小学5年生**石山立晟・柿崎涼佑（奥羽ジュニア）**小学6年生**岸田紘和・柿崎俊樹（日新スポ少）**中学生**小野文太・高橋勇希（新庄）**一般**中島佳津洋・長山茂典（日新スポ少保護者会）**選手権**高橋翔弥・青柳悠介（新庄神室産業高）**女子複合**／**小学4年生**八鍬茉莉・横山綾音（奥羽ジュニア）**小学5年生**芦野怜那・本間優芽（日新スポ少）**小学6年生**柿崎わかば・高橋里佳（奥羽ジュニア）**中学生**高橋薫奈・佐藤明日香（新庄）**一般**柴田信子・阿部通子（市役所バド愛好会）**選手権**石山香奈恵・齋藤未来（つよしかい）**【弓道】高校男子**／**団体**新庄南高Aチーム**個人**柿崎翔平（新庄南）**金的**野田湧馬（新庄北）**花的**柏倉純平（新庄北）**高校女子**／**団体**新庄北高Aチーム**個人**竹川詩織（新庄北）**花的**渡部千尋（新庄北）**一般**／**個人**鈴木遙晴**花的**土田学**【自転車】中学生の部**吉田和志（明倫）**小学校高学年の部**加藤理都（沼田）**幼児の部**叶内輝人（日の出町）**【剣道】男子**／**小学4年生以下**梅津鷹央（新庄地区柔剣道練成会）**小学5年生以上**菊地諒（東山練成会）**高校生**金澤優樹（新庄東）**一般**武田芳彦（金沢）女子／**小学4年生以下**庄司明日海（新庄地区柔剣道練成会）**小学5生年以上**岸千晶（東山練成会）**中学生**髙橋あかね（新庄）**高校生**武田祐紀（新庄東）**一般**髙橋真澄（宮内町）**【合気道】奨励賞**／**低学年**伊藤晶紀（沼田）**小学生高学年**武田紘（北辰）**一般**有吉朋義**【野球】**B.K**【ハンドボール】一般の部**航空電子HC**高校の部**神室産業高校Aチーム

■いい歯でいきいき「むし歯サミットin新庄2010」（11月13日／市民プラザ）

受賞者／五十嵐二郎さん、伊藤邦雄さん、井上信夫さん、大泉文子さん、小野芳太郎さん、海藤とよ子さん、柿崎ハルエさん、加藤清一さん、鎌田ミヨ子さん、桐ヶ窪和子さん、沓澤三郎さん、沓澤秀子さん、工藤昇さん、栗原宏さん、黒坂朝子さん、後藤陽夫さん、小屋重冶さん、齋藤シゲ子さん、笹原勝子さん、佐藤千代子さん、佐藤鐵藏さん、篠木トキエさん、杉原美喜子さん、曽野部オミヤさん、高木利兵衛さん、田中幸男さん、早坂美津雄さん、早坂幸子さん、星川盛良さん、矢口金治さん、矢口隆子さん、八鍬哲さん、矢作三郎さん、山科銀蔵さん

■女性団体連絡協議会と市長が語る会

（11月15日／市民プラザ）

7つの女性団体で組織する新庄市女性団体連絡協議会と市長が、市政運営などについて語る会を開催しました。会では、高齢者福祉や商業振興など幅広い分野で意見が交わされました。

■かもしかおたのしみ会（11月7日／ゆめりあ）

新庄市かもしかクラブ連合会が、子どもたちに交通安全を楽しく学んでもらおうと第21回かもしかおたのしみ会を開催しました。升形児童館の子どもたちによる新庄まつり囃子演奏やにこにこ東園、はぐくみ保育園の子どもたちによる歌や遊戯、バザーや輪投げコーナーなど多彩な催しが開かれ、多くの親子連れでにぎわいました。

1第65回県美展・第52回こども県展新庄巡回展
（11月3日～8日／市民プラザ）
2市内小学校合唱部などが参加した第48回市民音楽祭
（11月3日／市民文化会館）
3第10回図書館まつり（11月6日～7日／図書館・市民プラザ）

12月のおしらせ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

雪の里情報館 雪国ギャラリー展示のご案内

『つる細工と漆工芸』のアーティザン～静寂から生み出される民芸品の精髄～

▼**とき** 23年1月27日㈭まで
▼**出品者** つる細工・渡邊勘七さん、漆工芸・沼澤徳治さん

雪国の成人式『振袖夢世界』特別展～20歳の門出を祝うために～

▼**とき** 12月25日㈯まで
▼**内容** 美容組合新庄支部研究会会員が着付けした振袖の展示
※いずれも入場無料
㊐雪の里情報館 ☎22-7891

しめ縄飾り作り講座参加者募集

▼**とき** 12月25日㈯午後1時～4時
▼**ところ** ふるさと歴史センター
▼**講師** 伊藤佐吉さん
▼**持ち物** 手ぬぐい・はさみ
▼**受講料** 1、000円
▼**申し込み** 12月20日㈪まで（先着10人）
㊐ふるさと歴史センター ☎22-2188

フランス風クリスマス料理教室参加者募集

▼**とき** 12月18日㈯午後4時～
▼**ところ** 市民プラザ
▼**講師** 笹 美知子さん
▼**材料代** 2、500円
▼**申し込み** 12月16日㈭まで
㊐事務局・笹 ☎22-2086

第7回ひつじカフェニードルでひつじ作り

▼**とき** 12月19日㈰午後1時30分～4時30分
▼**ところ** 市民プラザ
▼**参加費** 1、500円（材料費込み）
▼**定員** 先着15人
▼**申し込み** 事前に電話で
㊐新庄ひつじネットワーク・伊藤（月～金曜日午後4時～7時受付） ☎22-4861

うつ病の家族のための無料講座

▼**対象** うつ病と診断され治療中の方の家族
▼**とき** ①12月21日㈫午後2時～3時30分②23年1月20日㈭午後1時～2時30分③23年3月10日㈭午後1時30分～3時30分
▼**ところ** 最上総合支庁
▼**講師** ①門脇医院医師・門脇淳子氏②新庄明和病院臨床心理士・和田美和氏③ファミリーサポート桜の会代表・鎌田なお子氏
▼**申し込み** 各実施日の3日前まで
※無料託児有り（実施日の1週間前まで要予約）
㊐最上保健所 ☎29-1266

年末年始のごみ収集について

休業期間 12月31日㈮～1月3日㈪

※1月4日㈫からは通常収集します。

【ごみ処理場へ自己搬入する場合】

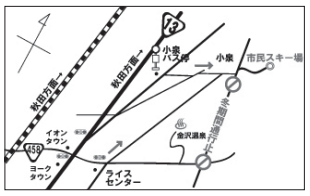
可燃ごみ エコプラザもがみ（☎22-3838）
不燃ごみ・粗大ごみ・資源ごみ リサイクルプラザもがみ（☎32-2042）
○**受付時間** 午前8時30分～正午、午後1時～4時
○**手数料** 140円／10kg（可燃・不燃・粗大・資源いずれも）
※いずれも12／31㈮～1／2㈯は休業
◎詳しくは、環境課へ。 ☎内線432

「市民スキー場オープン」

○**とき** 12月25日㈯～2月27日㈰の土日・祝日および年末年始（12月25日～1月7日）午前9時～午後9時、平日正午～午後9時、祝日以外の月曜日休場
○**無料開放日** 12月25日㈯、1月12日㈬、2月11日㈬、2月27日㈰
○**ポイントカード** リフト券購入でポイントを集めるとリフト券がもらえます。

梅ヶ崎吉沢線開通に伴う通行止めのお知らせ

市道「梅ヶ崎吉沢線」開通に伴い、山屋方面からスキー場までは冬期間通行止めになりますので、小泉方面からお越しください。



◎詳しくは、市民スキー場へ。☎25-3915

子育てタクシーの利用登録について

県では、子育て支援の一環として、学校や塾などへの送迎時や、緊急時などに認定ドライバーがサポートする子育てタクシーを実施しています。事前の利用登録により、子どもの一人乗車や緊急時の対応が可能です。

▼**利用料金** 通常の乗車料金と同じ（登録は無料）
▼**申し込み** 直接、運行事業者へ（市内登録事業者／新庄タクシー☎22-3955）
㊐福祉事務所児童支援室 ☎内線544

新庄・最上地域シルバー人材センター職員募集

▼**対象** 新庄公共職業安定所管内居住者で経理事務経験者

平成23年「新年市民の集い」

～新年の夢を語り、飛躍の年に～

○**とき** 23年1月4日㈫午後3時～5時
○**ところ** 市民プラザ大ホール
○**参加費** 1人1,000円
○**申し込み** 参加費を添え12月17日㈮まで
◎詳しくは、総務課協働改革室へ。
☎内線218

井戸水を利用した消雪工事のご提案
冬の準備はお早めに！
シーズン前の点検も承ります！
井戸の掃除、カナケ（鉄分）除去など井戸のことならなんでも
株式会社アイテック東北
最上郡最上町大字志茂265番地 ☎0233-44-2657

miyagi レンタル振袖フェア
成人式や卒業式当日に振袖や袴をレンタルして…
撮影はゆっくり、ご都合に合わせて
「前撮り」or「後撮り」
12/2㈭～2011年3/31㈭
振袖レンタルパック
（内容：着物一式・着付け・ヘアメイク・六切りサイズ2ポーズ）
◎通常価格60,000円～→◎特別価格58,000円～
式当日と撮影当日2回着用できてこの価格！！
フォトスタジオミヤギ 新庄市大町1-13 ☎22-8067 担当：阿久津

調理師業務従事者届

飲食店等で、調理業務に従事する調理師は2年ごとに県知事に届出が必要です。23年1月15日まで最寄の保健所に忘れずに届け出てください。

◎県保健薬務課 ☎023-630-2329

事業所のメンタルヘルス対策を支援します

職場のメンタルヘルス対策全般について、相談・問い合わせに応じます。

◎メンタルヘルス対策支援センター ☎023-674-0770

催しなど

大宮浩一（新庄出身）監督作品 ドキュメンタリー映画チャリティー上映会「ただいま それぞれの居場所」

今年度文化庁映画賞（文化記録映画大賞）受賞作品で、介護福祉の現状を追ったドキュメンタリーです。

●とき 12月18日㈯午後6時開演（大宮監督舞台あいさつなど）、午後6時30分上映開始
●ところ 市民プラザ大ホール
●入場料 500円
◎詳しくは、上映実行委員会・庄司へ。☎22-3155

「まちの保健室」開催

●とき 12月19日㈰午前10時～正午
●ところ ゆめりあ・花と緑の交流広場
●内容 血圧・体脂肪・骨密度測定など
◎参加無料。詳しくは、山形県看護協会最北支部事務局へ。 ☎52-3035

ゆめりあクラフトフェアー手作り無料体験

●とき 12月19日㈰午前10時～正午
●ところ もがみ体験館（ゆめりあ内）
●内容 リース・革ストラップ・人形絵付け
●定員 30人
◎詳しくは、ゆめりあへ。 ☎28-8888

第81回市民映画劇場「君に届け」上映会

●とき 12月23日（木・祝）①午前10時30分～②午後2時～（上映約130分）
●ところ 市民プラザ大ホール
●前売券 一般1,300円、大学・高校生1,200円、3歳～中学生800円、60歳以上1,000円
※1回目のみ予約制有料託児あり（1人400円）予約は託児ルームHUGへ。☎090-2028-9465
◎詳しくは、プライマルプロジェクト・石田へ。☎22-6155

産直まゆの郷からのお知らせ

【年末みそか市】●とき 12月28日㈫～30日㈭午前9時～午後6時
●内容 年末・正月用の農産物の販売
【土曜そばの日】●とき 3月26日までの毎週土曜日午前11時～午後1時（1月1日の「そばの日」は休みです）
●内容 手打ちそば300円（新庄産そば粉使用）
※まゆの郷の営業時間は午前9時～午後6時です。12月31日～1月3日は午後4時閉店です。
◎詳しくは、産直まゆの郷へ。☎23-5007

（日商簿記3級以上・普通自動車運転免許取得）▼職種 一般事務および現場指導
▼採用数 1人
▼申し込み 12月24日㈮まで
▼試験日 23年1月21日㈮
㊐新庄・最上地域シルバー人材センター ☎22-3065

就職サポート無料相談窓口のご案内

▼とき 毎週月曜日～土曜日（水曜・祝日除く）午前10時～午後5時（受付は午後4時まで）▼ところ こらっせ新庄1階
▼内容 就職活動に役立つ相談やキャリアアップのための訓練を行います。
㊐最上地域雇用創造推進協議会 ☎23-6212

高次脳機能障がい巡回相談のお知らせ

▼とき 23年1月20日㈭午後1時～3時
▼ところ 最上就業・生活支援センター準備室（旧「友愛園」）
※事前予約必要
㊐最上就業・生活支援センター準備室 ☎23-4528

農業委員会委員選挙人名簿登載の申請

農業委員会委員選挙人名簿は、農家の方の申請に基づき、毎年1月1日現在の選挙資格を調査し作成します。申請しないと、選挙人名簿に登録されず、選挙があっても投票できません。該当する人は、必ず申請してください。

▼申請できる人 次のいずれかに該当する市内在住の成人
①10アール以上の農地があり、耕作を営む農業経営者
②①の農業経営者と同居の親族またはその配偶者で、年間60日以上耕作に従事する人
▼申請方法 【農業協力員がいる地区】協力員を通じて配布する申請書に記入し、協力員に提出【その他の地区】農業委員会に提出 ▼申請期限 23年1月7日㈮まで
㊐農業委員会事務局 ☎内線256

消防設備士試験実施のお知らせ

▼とき 平成23年2月6日㈰
▼種類 消防設備士甲種および乙種 ▼願書受付 12月13日㈪～22日㈬
㊐消防試験研究センター ☎023-631-0761

国民年金保険料は所得控除の対象です

平成22年中に納めた国民年金保険料は、全額が社会保険料控除として所得税や住民税申告の控除対象となります。

日本年金機構から控除証明書が送付されます（保険料の納付時期により11月の場合と2月の場合があります）ので、年末調整や確定申告の際に提出してください。紛失などの場合は控除証明書専用ダイヤル0570-070-117または、年金事務所にご相談ください。
㊐新庄年金事務所 ☎22-2050

油の流出事故にご注意ください！

油流出事故を防ぐために次のことに注意しましょう。
①その場を離れない・目を離さない、②配管の場所には目印を、③定期点検を怠らない
※事故を起こしたり発見したら市役所、消防署、警察署などへご連絡ください。
㊐環境課環境保全室 ☎内線433

NTT docomo
2010
NEW COLLECTION DEBUT!
～冬春モデル続々登場～
ドコモショップ 新庄中央通り店 営業時間AM10:00～PM7:00 新庄市小田島町6-60 0120-238-702

佐吉爺の民具あれこれ

雪とまつりのふるさと新庄の先人たちは、知恵と技術を凝縮して機能的で美しい民具をつくりだし、その文化は、現代も継承されています。民具の使い方や機能について、当時の暮らしぶりなどをまじえて紹介します。

解説:伊藤佐吉さん(仁田山)

師走月　忘年会で　若くなり

十二月となると年の暮れ師走月。みんな何かと忙しい季節となる。小雪も過ぎて、大雪の時節、そろそろ里にも雪が降り始める。農家も畑仕事の白菜、大根などの収穫作業に追われる。

家の雪囲いもできて冬支度も終わり、木桶に白菜や大根、かぶなどを漬け込む。今では、ビニール袋に入った漬物を食べる時代となったが、昔は女の人たちが冷たい水で手を赤くしての作業だった。

雪の朝は、早起きして雪踏み俵で道づくり。隣の家まで道をつくってから朝飯を食べての通学であった。子どものころの着物は、綿入りのドンブグ(上着)に下はモンペ。頬を真っ赤にして鼻をたらしての通学だった。

▲ふるさと歴史センター雪国民俗館に展示しています。

現代は、夏も冬も車での移動となったが、昭和のはじめのころは、ワラの深靴とゴム長靴の混用時代。戦争が始まり、ゴム長靴は配給となり、学校では「くじ引き」が行われた。学用品も不足し、なんでも大切に使った。

農家も冬仕事に入るため、ワラの支度にとりかかる。冬の農家の生活用具「ワラブトン」は、布団皮に稲ワラを入れてつくる寝具。温かくて寝心地は最高だった。ご飯を釜ごと入れて保温したのもワラでつくった「エジコ」。ワラは保温にも優れている。

十二月、神々の年越しがたくさんある。九日は、二股の大根を大黒様の嫁に見立てて大黒様の「むがさり」。大黒様は豆が大好きなので豆ご飯をはじめとした豆料理九品をお膳に供える。

～祝言葉　大黒大黒　耳の聞かず大黒　耳の穴大きくあげで　豆あがれ福呼んでたもれ～

二十二日は、冬至。昔から小豆南瓜を食べると風邪や病気にならないとの言い伝えがある。二十六日頃になると、納豆づくり(ナットネセ)が始まる。ワラで苞(つと)を作って煮豆を包んで保存した。ワラには納豆菌が入っている。玉子も苞に包んで保存した。これも先人の知恵。ワラは、日本の生活を支えてきた文化である。

捨てられた　民具生きてる　世の文化

表紙の写真

大凧、揚がれ～！ ―新庄凧フェスティバル2010―

11月21日、隠明寺凧保存会が隠明寺凧の伝承と凧を通した交流を広げたいと「新庄凧フェスティバル2010」を開催しました。会場となった新庄中核工業団地には、秋田、福島、茨城など全国各地から愛好家が自慢の凧を手に集まりました。競技と表彰に続き隠明寺凧の大凧が大空に揚げられ、会場は歓声につつまれました。

10月末現在の新庄人

39,072人(39,406人)	
女	20,398人(20,567人)
男	18,674人(18,839人)
世帯数	13,481世帯(13,482世帯)

10月の異動

出生	30人(27人)
死亡	43人(47人)
転入	50人(88人)
転出	69人(79人)

※( )は1年前の住民基本台帳

平成22年12月9日号(No.636) ■編集・発行／新庄市 総務課 〒996-8501 新庄市沖の町10-37 TEL.0233-22-2111 ■制作・印刷／共栄印刷株式会社 14,000部発行

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています